

EU 支部長: 松原真実子 MATSUBARA Mamiko

青森県八戸市出身 国際文化専攻修士 修士論文『異文化間コミュニケーションの研究—フィードバック作用—』  
現在 大阪府 太成学院大学 勤務

e-mail: leoshironeko@yahoo.co.jp



## この号の内容

1 イタリア 700 店賛同 名物パスタ食べて地震支援を世界にも呼び掛け

2 EU 支部だより

- ・イタリア中部地震支援
- ・名物パスタ
- ・ジェイミー・オリバー氏

## イタリア 700 店賛同 名物パスタ食べて地震支援を世界にも呼び掛け

—イタリア中部地震で被害を受けたアマトリーチェ村の名物パスタ「アマトリーチャーナ」—

イタリア中部で 24 日未明に発表した大地震で壊滅的な被害を受けたアマトリーチェ (Amatrice) 村を支援するため、飲食店が同村生まれの人気パスタ料理「スパゲッティ・アマトリーチャーナ」をメニューに加える活動が広がっている。これまでに国内の料理店 700 店以上が賛同した他、海外へも広がる動きを見せている。

活動のきっかけを作ったのは、首都ローマ(Roma) 出身のグラフィックアーティスト、パオロ・カンパーナ(Paole Campana) さん。各地のレストランに対し、アマトリーチャーナをメニューに加え、1 皿につき2ユーロ(約 230 円)を被災者支援のために寄付しようという企画を(Facebook) 上で提案したところ、大きな反響が集まった。

カンパーナさんはAFPの取材に対し、25 日昼までに 700 店以上から協力の申し出があったと語った。また、「スローフード(Slow Food)運動の提唱者カルロ・ペトリーニ(Carlo Petrini) 氏や、英カリスマシェフのジェイミー・オリバー(Jamie Oliver)氏もこれに賛同。「#EatForItaly(イタリアのために食べよう)」というハッシュタグを添えて、世界に向け協力を呼び掛けている。

首都ローマを含む同国中部の郷土料理の一つであるアマトリーチャーナソースは、アマトリーチェを取り囲む険しい山々に暮らす羊飼いが生み出したとされる。毎年恒例のアマトリーチャーナの祭典を数日後に控える中で発生した地震では、カンパーナさんいわく村一番のアマトリーチャーナが食べられる場所だったホテル・ローマ(Hotel Roma)も倒壊してしまった。

アマトリーチェは風光明媚な山間部の村で、毎年夏になると何千人もの人々がこの名物パスタを目当てに訪れる。しかし同村で再びアマトリーチャーナが楽しめるようになるには、相当の時間がかかる見込みだ。

カンパーナさんは、「プーリア(Puglia) からトスカーナ(Toscany) まで全国各地、さらに国外のレストランからも連絡があった。企画を海外にも広められるよう、ロゴを複数の言語へ翻訳してほしいという依頼も受けた。これまでアマトリーチャーナを作ったことがなかった店まで、試してみると言ってくれている」と話している。(c)AFP

## EU 支部だより —食べて支援 Eat For Italy—

イタリア中部地震でのアマトリーチェ村の被災者を支援するため、名物パスタのアマトリーチャーナを食べて義援金を寄付する運動「食べて支援 (Eat For Italy)」が広がっている。1 皿につき店と客が1ユーロずつ合計2ユーロ(約 230 円)をイタリア赤十字の震災義援金として寄付する仕組みだ。

アマトリーチャーナは、塩漬けの豚肉(パンチエッタ)とタマネギを炒め、トマトソースで煮込み、ローマ近郊の特産チーズ(ペコリーノ)をかけたパスタ料理だ。

「第 50 回アマトリーチャーナ祭り」が、8 月 27 日から 28 日にその名の由来の地であるアマトリーチェで開催される予定だったが、その直前の 24 日に地震に見舞われてしまった。イタリアではこの義援金の運動を知りアマトリーチャーナを注文する客が急増中。

日本でも既に、複数のレストランがこの義援金に賛同している。例えば、東京都大田区や広尾のイタリアンレストラン、上板橋のワインバー、静岡県静岡市、兵庫県神戸市、福岡県薬院のイタリアンレストランでもスタートしている。

食べることでイタリアを支援する。遠く離れた日本でも、被災地を支援できることはまだまだあることを再確認した。あなたのよくいくイタリアンでも「食べて支援 (Eat For Italy)」できるレストランがあるかもしれない。(松原)



- ・赤十字震災義援金
- ・パンチエッタとペコリーノ

